

種名 アオダイショウ (サトメグリ、ムラクル)



緑色に近い灰色をしていて、はっきりしないたてじまがあります。小さなほ乳類や、小鳥類を捕まえて食べます。林や畑、人家のまわりでよく見られます。今井橋や、虫川が合流するあたりで、見つかりました。姫川の全地域に分布していますが、おもに、川のまわりの雑木林や、ヨシ草原にすんでいます。

種名 ホンドタヌキ (タヌキ、ムジナ、マメダヌキ、タノキ)



人里近くの、広葉樹林の林の中にすんでいます。沢や、川の水のまわりに近いところに好んであらわれます。雑食性で、木の実から小動物、人間の残飯までいろんな物を食べます。姫川の全地域で見られ、虫川が合流するあたりより上流側にすんでいます。民家のゴミ捨て場に、餌を求めてでてくることがよくあります。イヌの仲間ですが、木登りがうまく、柿の実を食べることがあります。

種名 トウホクノウサギ (ノウサギ、ヤマウサギ、オサギ)



夏は茶色をしています、冬には白くなります。平地から高山までの森林や、そのまわりで見られます。虫川や、根知川が合流するあたりの左岸側で、見られます。おもに、山側にすんでいます。キツネにつかまえられ、餌となるので、キツネが増えたと数が減り、少なくなると増えます。

種名 ホンドギツネ (キツネ)



尾っぽは太く、先っぽは白色をしています。人家のまわりの林に、たくさんすんでいます。雑食性ですが、おもに、ネズミやノウサギを捕まえて、食べます。新潟県内では、数が少なくなっています。姫川の全地域で、見られました。虫川が合流するあたりより、上流側にたくさんすんでいます。姫川では、4年ごとに数の増減のピークがおとずれています。最近、数が増えています。

種名 ニホンリス (キネズミ)



平地から山地にわたる森林に、すんでいます。マツやクルミの木の実を、好んで食べます。昆虫類や、小鳥の卵も食べます。河川敷にはすんでいませんが、姫川の上流から流れてきた、クルミなどの木の実を採りにくることがあります。5～6月と9月に、よく見られます。根知川が合流するところより上流で、たくさん見られます。国道で、車にひかれて死んでいることもあります。

種名 ニホンアナグマ (アナグマ、マミ、ムジナ)



顔は白っぽく、目のまわりや鼻すじに、たてのしま模様があります。小さな動物や、木の実をはじめとして、なんでも食べます。谷沿いの斜面によく見られます。佐渡をのぞく、新潟県内の全地域にすんでいます。姫川鉄橋のあたりで見られましたが、虫川が合流するところより、上流にすんでいます。根知川が合流するあたりの山側にすんでいます。